

田辺市議会だより

発行 / 田辺市議会 編集 / 広報委員会

令和7年
(2025年)

2 月号



【目次】

| | |
|--------------------------|---------|
| 主な議案の内容、令和5年度決算 | P 2 |
| 議決結果、採決賛否一覧ほか | P 3 ~ 4 |
| 一般質問ほか..... | P 5 ~ 7 |
| 第1回（3月）定例会予定ほか... | P 8 |

表紙の写真

田辺市議会では毎年、議会運営委員会主催の議員研修会を開催しています。今年度は、議員自らが議員・議会の役割や議員定数について見識を深めるとともに、議員定数についての活発な議論を展開するため、自治体議会研究所の高沖秀宣氏をお招きし、「議員・議会の役割と議員定数」について御講演いただきました。

第5回（12月）定例会

第5回（12月）定例会は、11月27日から12月19日までの23日間の会期で開催し、「田辺市民総合センター条例の一部改正について」など、市長提出議案34件を全て原案のとおり可決（人事案件については異議なし）しました。

また、市長専決処分事項2件の報告を受けました。

なお、第4回（9月）定例会で各常任委員会へ付託され、閉会中の継続審査となっていた令和5年度一般会計及び各種特別会計歳入歳出決算議案等15件については、全て認定及び可決しました。

本定例会では、12月9日から11日の3日間にわたり、10人の議員が一般質問を行いました。

主な議案の内容

補正予算

●議案第13号

一般会計補正予算（第6号）

11億8641万5000円

・紀州田辺ブランド推進事業費補助金
104万5000円

2025年大阪・関西万博において、国内外の来場者に田辺市の産品をPRするため、田辺市地域ブランド推進協議会と連携し、各種取組を推進する。

・大阪・関西万博におけるプロモーション事業
90万5000円

2025年大阪・関西万博において、2つの世界遺産に係る情報発信等を行い、本市への誘客促進に取り組むとともに、梅・梅酒の消費拡大につなげるため、各種準備に着手する。

・学校給食食物アレルギー等対応補助金
26万4000円

学校給食費無償化による不公平感を解消するため、食物アレルギー等により、やむを得ず弁当を持参している児童生徒の保護者に対して補助を行う。



●議案第26号

一般会計補正予算（第7号）

7億9249万1000円

・住民税非課税世帯支援事業

4億1300万円

物価高騰による低所得者の負担を軽減するため、住民税非課税世帯に対して支援金を給付する。

令和5年度 各種会計歳入歳出決算

各常任委員会での主な質疑についてお知らせします。

※委：委員からの質疑、市：市当局の答弁を表しています。

総務企画委員会

事前復興計画合意形成等支援業務委託料について
委 業務内容は。

市 市民との合意形成に向けた取組を行うため、説明会の開催、応急仮設住宅用地の選定、災害廃棄物等の検討、公用地におけるライフラインの整備状況の確認、跡地利用の検討、学習会や会議における支援等を行ったものである。

産業建設委員会

空家対策について

委 不良空家の件数と取組状況は。

市 平成30年度の空き家所有者実態調査により、1760件の空き家を確認している。不良空家については、同年度末で88件、令和6年9月末現在で61件となっている。また、これまでは危険な空き家に係る対策を進めていたが、令和6年8月からは、空き家となった中古住宅の流通促進事業を開始しており、現在業者に3件依頼し、うち1件について進めている。

文教厚生委員会

最終処分場廃止に向けた調査について
委 調査結果は。

市 最終処分場の最終覆土について、当初県に提出した埋立計画と相違がないかの調査を行ったもので、その結果に基づいて、令和6年度に測量、令和7年度に最終覆土を計画している。また、ごみ層を通った浸出水の水質や水処理の現状についても調査したところ、まだ浸出水の濃度が高い状態であるため、今後も浸出水処理施設の管理が必要である。

議決結果

第5回（12月）定例会

| 件 名 | | 議決結果 | |
|--------------------------|--|------------------|----------------|
| 4定議案第21号 | 令和5年度田辺市一般会計歳入歳出決算について | 認定 (全会一致) | |
| 4定議案第22号 | 令和5年度田辺市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について | 認定 (賛成多数) | |
| 4定議案第23号 | 令和5年度田辺市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について | | |
| 4定議案第24号 | 令和5年度田辺市介護保険特別会計歳入歳出決算について | | |
| 4定議案 第25号～33号 (9件) | 令和5年度各種会計歳入歳出決算 田辺市分譲宅地造成事業特別会計・田辺市農業集落排水事業特別会計・田辺市林業集落排水事業特別会計・田辺市漁業集落排水事業特別会計・田辺市戸別排水処理事業特別会計・田辺市診療所事業特別会計・田辺市駐車場事業特別会計・田辺市木材加工事業特別会計・田辺市四村川財産区特別会計 | 認定 (全会一致) | |
| 4定議案第34号 | 令和5年度田辺市水道事業会計利益の処分及び決算について | 可決及び認定 (全会一致) | |
| 4定議案第35号 | 令和5年度田辺市特定環境保全公共下水道事業会計利益の処分及び決算について | | |
| 5定議案第1号 | 田辺市民総合センター条例の一部改正について | 原案可決 (全会一致) | |
| 5定議案第2号 | 田辺市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について | | |
| 5定議案第3号 | 田辺市集落排水処理施設条例及び田辺市特定環境保全公共下水道条例の一部改正について | | |
| 5定議案第4号 | 工事請負変更契約の締結について 瀬谷川改良工事 | | |
| 5定議案第5号 | 物品購入契約の締結について 遠隔合同授業環境整備機器一式購入契約 | | |
| 5定議案第6号 | 権利の放棄について | | |
| 5定議案 第7号～10号 (4件) | 指定管理者の指定について 田辺市龍神丹生ヤマセミの郷・田辺市大塔百間山溪谷キャンプ村 ・田辺市近露観光交流館・紀南文化会館 | | |
| 5定議案第11号 | 田辺市及び白浜町におけるはしご付消防自動車に関する連携協約の締結について | | |
| 5定議案第12号 | 和歌山地方税回収機構の共同処理する事務の変更及び機構規約の変更について | | |
| 5定議案第13号 | 令和6年度田辺市一般会計補正予算（第6号） | | |
| 5定議案第14号 | 令和6年度田辺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） | | |
| 5定議案第15号 | 令和6年度田辺市介護保険特別会計補正予算（第2号） | | |
| 5定議案第16号 | 令和6年度田辺市木材加工事業特別会計補正予算（第2号） | | |
| 5定議案第17号 | 令和6年度田辺市水道事業会計補正予算（第2号） | | |
| 5定議案 第18号～23号 (6件) | 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて 松平恭子氏（再）・前田恵子氏（再）・久保正博氏（再）・廣岡香氏（再） ・石谷昌英氏（新）・山蔭沢也氏（新） | | |
| 5定議案第24号 | 田辺市職員の給与に関する条例等の一部改正について | | 原案可決 (全会一致) |
| 5定議案第25号 | 田辺市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について | | |
| 5定議案第26号 | 令和6年度田辺市一般会計補正予算（第7号） | | |
| 5定議案第27号 | 令和6年度田辺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号） | | |

議決結果

第5回（12月）定例会

| 件 名 | | 議決結果 |
|----------|------------------------------|----------------|
| 5定議案第28号 | 令和6年度田辺市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 （全会一致） |
| 5定議案第29号 | 令和6年度田辺市介護保険特別会計補正予算（第3号） | |
| 5定議案第30号 | 令和6年度田辺市診療所事業特別会計補正予算（第2号） | |
| 5定議案第31号 | 令和6年度田辺市木材加工事業特別会計補正予算（第3号） | |
| 5定議案第32号 | 令和6年度田辺市四村川財産区特別会計補正予算（第2号） | |
| 5定議案第33号 | 令和6年度田辺市水道事業会計補正予算（第3号） | |
| 5定議案第34号 | 令和6年度田辺市下水道事業会計補正予算（第2号） | |

※議案番号の前の「4定」は9月定例会、「5定」は12月定例会を表しています。

※議案第〇号は市長提出議案です。

| 賛否が分かれた議案 | 議案の可否 | 紀新会 | | | | 清新会 | | | | くまのクラブ | | 公明党 | | 大志会 | | 日本共産党 | | |
|-----------------------------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|--------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 安達 克典 | 市橋 宗行 | 尾崎 博文 | 宮井 章 | 尾花 功 | 北田 健治 | 福榮 浩義 | 柳瀬 理孝 | 橋 智史 | 安達 幸治 | 谷 貞見 | 佐井 昭子 | 加藤 喜則 | 浅山 誠一 | 松上 京子 | 久保 浩二 | 前田 かよ |
| 4定議案第22号～24号 ※議案名は議決結果参照 | 認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × |

【○…賛成 ×…反対】 ※議長（尾花功）は議決に加わらないため斜線としています。

議員定数に関する協議について

本市議会は、議員定数を平成17年の市町村合併時の30人から、平成21年には26人に、平成25年には22人に、令和3年には20人に削減し、議会運営を行ってきました。今期においては、定数20人に対して現員数17人と、欠員3人の状態が約2年続いています。

そこで、令和6年9月27日、議長から議会運営委員会に、これまでの議会運営を総括する意味で、議員定数について調査研究を進めるよう諮問がありました。その後、10月2日、11月5日及び21日に開催した議会運営委員会では、類似団体等の比較資料や外部講師による議員研修会の内容も踏まえ、委員間による自由討議により意見の集約が図られましたが、一定の結論を得るまでには至りませんでした。議会運営委員会は、11月21日にその結果を議長へ答申し、委員会での調査・検討は終了しました。

「田辺市議会の議員定数について（答申）」の抜粋

当委員会においては、できる限り全会一致による意見の取りまとめを図るため、委員間での自由討議を実施し、合意形成を目指すものの、「議会には多様な視点が必要で、議員定数20人を削減すべきではない」、「旧町村部では、議員定数を削減すると、さらに住民の声が行政に届きづらくなる」、「議会力が低下するとともに、議員のなり手不足にもつながる」など議員定数20人を維持すべきとの意見が出された一方で、「実数17人で欠員が3人ある中、17人で補完することで、議会機能の低下にはつながらなかった」、「議員定数20人のままだと、市民からすれば議員を増やすという感覚になる」など議員定数を削減すべきとの意見が出され、その他にも「客観的な根拠もなく、市民を巻き込んだ十分な議論ができていない。次の選挙までにはあまりにも時間がなく、改選後にしっかり議論すべきである」といった意見など、最終的には一定の結論を得るまでには至らなかった。

一般質問

※議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。
※編集の方針上、「～だ」「～である」といった文体に統一しています。

加藤喜則議員



- 議 県は、こども食堂の開設時の助成を行っているが、継続運営していただくための支援策について、本市の考えは。
- 市 こども食堂は、自主的・自発的な取組だが、衛生面の配慮、運営資金・人材・場所の確保が必要で、厳しい状況の中で運営していただいている。本市として、食材提供等の情報があつた際の調整役を担っているほか、令和5年度に物価高騰対策として、開催回数に応じて支援金を支給。今後も、地域や社会全体で課題を解決する意識を持ち、県や関係団体との連携や協力を図り、支援の充実に努めてまいりたい。

持続可能なこども食堂の運営のための支援策について

久保浩二議員



- 議 本市のマイナ保険証の普及率と利用率はどのようになっているか。
- 市 国民健康保険被保険者の登録者率は64.4%、後期高齢者医療保険は56.7%で、利用率は11.9%と7.2%となっている。
- 議 高齢者などデジタル弱者は暗証番号を覚えることが難しく、介護入所施設はマイナ保険証の管理に苦慮している。
- 市 マイナ保険証での受診が困難な場合は代理人からの申請でも資格確認書を発行することができる。
- 議 今後も現行の健康保険証を継続し、マイナ保険証との併用にすべきだ。
- 市 マイナ保険証を利用しない方には有効期限が切れる前に資格確認書を発行することになっている。

現行の保険証の存続について

前田かよ議員



- 議 未成年者の個人情報がかつた名簿を自衛隊に提供する法的根拠は何か。
- 市 自衛隊法第97条第1項で自治体は自衛官の「募集に関する事務の一部を行う」とされ、同法施行令第120条の防衛大臣は「必要な報告又は資料の提出を求めることができる」との規定が根拠条文であると解釈している。
- 議 市が受託する「一部の事務」とは、同法施行令第120条前段に記載の募集期間の告示や広告宣伝を指す。「名簿の提出」など明確な規定がないにもかかわらず、個人情報を提供するの憲法第13条が保障するプライバシー権の侵害であると考えており、直ちに提供の中止を求める。

自衛隊への未成年者の個人情報提供について

松上京子議員



- 議 18歳未満の全ての子どもの居場所として児童館が注目されている。本市での利用状況はどうか。また、居場所づくりや相談機能充実のためどのような取組をしているか。
- 市 近年は特に乳幼児と保護者の利用が増えている。子どもの意見を反映させた講座や体験学習等を実施するなど、「行きたい」「居たい」と思える環境づくりに努めている。各種相談については資格を有する職員が迅速丁寧に対応し、関係機関とも連携している。今後もより多くの方々が集える事業内容やSNS等効果的な情報発信を研究したい。

児童館事業について

谷 貞見議員



議 令和6年4月の介護保険制度の改正により訪問介護の報酬が引き下げられ、ホームヘルパーの給与や待遇が向上せず深刻な人手不足が続いている。特に中山間地域への訪問は効率が悪く、訪問介護サービスを受けること自体が困難、もしくは必要とする回数が受けられない状態に陥る懸念があり、今後の対応を問う。

市 高齢者が住み慣れた自宅での生活を継続できるよう、訪問介護に加え、居宅介護支援、通所介護サービス等も含めて他市の事例等も参考に、実効性があり効率的な方策について検討を重ねてまいりたい。

中山間地域への訪問介護の今後の対応について

柳瀬理孝議員



議 近年、本市特産品である梅・みかんが天候不順等により不作となる年が多くなっている。とりわけ令和6年は梅の不作と雹被害が重なった上、みかんも不作となっている。先進的な自治体では農業所得の安定と生産力の安定のため、農業者収入保険の補助制度を実施しているところもあるが、本市においても本制度を創設すべきではないか。

市 梅・みかんを中心とした農業は本市にとって裾野の広い基幹産業であり、収入保険についても加入を促進している。補助制度については、先進自治体の取組を参考にしつつ、検討を進めたい。

農業者収入保険補助制度の創設について

安達克典議員



議 近年、地元の団体を中心に古道の整備が進められている現状と、今後の全体的な構想について答弁を求める。

市 奥辺路は、高野山～護摩壇山～龍神温泉～丹生ノ川を経て熊野本宮大社へと続く古道として、今も姿を色濃く残している。龍の里づくり委員会と市が連携し整備に取り組み「新元号記念ウォーキングツアー」を契機に、ルート上にある史跡等の木製説明看板9基、道標49基の設置、全体のルートマップを作成している。今後さらなる古道の整備と魅力発信に努めるとともに新たな展開を検討し、関係自治体や各種団体と連携しながら、龍の里づくり委員会を通じて取り組んでいく。

幻の熊野古道奥辺路について

北田健治議員



議 令和6年産の梅が、暖冬の影響で記録的な不作となった。気候変動を見据えた対応策について問う。

市 短期的には、県やJAを中心に栽培管理をマニュアル化し、営農指導に当たっている。中期的には、老木樹の改植や受粉樹の植栽、ミツバチの活動を促すための防風対策等、計画的な実施を勧めている。長期的には、紀州うめ研究協議会において、温暖化に強い優良苗木を育成し、令和20年に普及させる取組に今年度から着手した。多くの農家が対応策を実行できるように、また、気候に左右されない苗木をできるだけ早期に提供できるように取り組む。

梅産業における気候変動対策について

一般質問

浅山誠一議員



議 令和4～5年度の2年間で40歳以下の若手職員23人が離職しており、職場環境のさらなる改善が必要だ。現在の窓口対応時間は始業から終業時間までで残業が前提となっている。全国的には労働時間削減や他の業務時間確保等に向けて窓口対応時間を短縮する自治体が増加しているが、市で導入する考えは。

(このほか、細かな改善の積み重ねが重要であるとの観点から、様々な改善策を提言)

市 窓口業務時間の短縮は職場環境の改善につながるが、市民の皆様からの理解をいただくことが重要であり、他団体の動向等を研究してまいりたい。

職場環境のさらなる改善について

市橋宗行議員



議 農作物鳥獣害防止対策事業、いわゆる防護柵補助事業での資材高騰対策は。

市 令和4年度からイノシシ・シカ用の補助基準額を1m当たり800円から900円に増額しているが、今後も農家負担の軽減を図るために見直しを検討する必要があると考えている。

議 イノシシ・シカの個体数減少のため、狩猟からジビエ販売までの食肉供給体制強化に向けた協力体制づくりは。

市 猟友会との連携の下、ICT機器での捕獲などによりジビエ利用促進につなげている。また、国や県のジビエ認証制度も有効であり、今後、関係者との連携をより密にしながら食肉供給体制を強化してまいりたい。

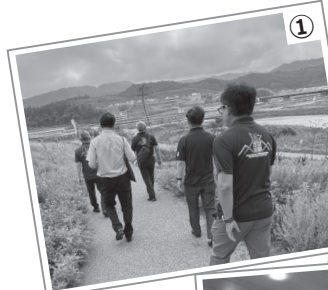
鳥獣害対策について

視察研修報告

各委員会では、市政の発展・住民福祉の増進のため、他の自治体等の先進的な取組について行政視察を行いました。

①総務企画委員会 (7月16日～18日)

- ◇岩手県陸前高田市：沿岸被災地の復興状況について
- ◇東日本大震災津波伝承館（岩手県）



②産業建設委員会 (11月6日・7日)

- ◇京都府京丹波町：京丹波町フードバレーについて
- ◇京都府福知山市：上下水道事業に係る包括的業務委託について



③文教厚生委員会 (7月17日～19日)

- ◇茨城県土浦市：土浦市民会館の大規模改修について
- ◇福島県須賀川市：須賀川市民交流センター「tette」について
- ◇福島県郡山市：ペップキッズこおりやまについて

④庁舎跡地活用等まちづくり特別委員会 (11月11日・12日)

- ◇岩手県大船渡市：市街地における復興まちづくりについて
- ◇(株)オガール（岩手県）：オガールプロジェクトについて



議 会 活 動 日 誌

| | |
|-----------------|---|
| 令和6年 11 月 | 【5日】 議会運営委員会 【21日】 議会運営委員会 【27日】 定例会（1日目）、総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会 |
| 12 月 | 【9日】 定例会（2日目） 【10日】 定例会（3日目）、議会運営委員会 【11日】 定例会（4日目）、文教厚生委員会 【12日】 総務企画委員会、産業建設委員会 【16日】 文教厚生委員会 【19日】 定例会（5日目）、議会運営委員会、総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会、広報委員会、庁舎跡地活用等まちづくり特別委員会 |
| 令和7年 1 月 | 【14日】 広報委員会 |

議会日程の詳細や市議会だよりの内容等について、ご意見・ご質問等がありましたら、田辺市議会事務局までご連絡ください。

【連絡先】 田辺市議会事務局

〒646-8545 田辺市東山一丁目5-1

TEL 0739-26-9940（直通）

FAX 0739-25-5579

E-mail : gikai@city.tanabe.lg.jp

田辺市議会ホームページ

<https://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/>



こちらからもホームページ

にアクセスできます

次回の「市議会だよりの

5月号

（第1回（3月）定例会の報告）

令和7年第1回（3月）定例会の会期日程（予定）

第1回（3月）定例会の会期日程（案）をお知らせします。

日程は諸事情により変更される場合がありますので、恐れ入りますが、傍聴をご希望の場合は、議会事務局まで日時をお問い合わせください。

| 月 | 日 | 会議の内容 |
|---|-------------|--|
| 2 | 26 | 本会議1日目（現年度補正予算等関係議案及び新年度予算等関係議案の提案説明） |
| | 27 | 本会議2日目（新年度予算等関係議案の提案説明の続き、現年度補正予算等関係議案に対する質疑及び委員会付託） |
| 3 | 3・4 | 常任委員会（現年度補正予算等関係議案の審査） |
| | 10 | 本会議3日目（現年度補正予算等関係議案の委員長報告、議案審議、一般質問） |
| | 11 | 本会議4日目（一般質問） |
| | 12 | 本会議5日目（一般質問、新年度予算等関係議案に対する質疑及び委員会付託） |
| | 13・14・17・18 | 常任委員会（新年度予算等関係議案の審査） |
| | 25 | 本会議6日目（新年度予算等関係議案の委員長報告、議案審議） |

※ 本会議の開会予定時刻は、3月25日が午後1時、それ以外は午前10時です。

編集後記

紀州材の香り漂う新庁舎が開庁して8か月が過ぎました。庁舎には中高生をはじめ多くの人が訪れ、勉強やくつろいで談笑する姿がこちらこちらで見られます。嬉しくてつい「もう中間テスト？」とか「お散歩の途中ですか？」などと声をかけてしまいました。人が集う様子は良いものです。

外観デザインで目を惹く5本の木格子は熊野古道の木々と、中辺路、大塔、龍神、本宮、旧田辺の5市町村の合併を表現したものです。今年には合併20周年を迎えます。人口減少が進むなか、改めて合併の検証とこれからの田辺市の在り方について考える時でしょう。人と人のつながりを大切に、そして希望を感じられるまちであるよう、私たちも力を尽くしたいと思っています。（松上）

広報委員会
委員長 松上 京子
副委員長 前田 かよ
委員 加藤 喜則
尾崎 博文
谷 貞見
北田 健治